

学修支援センター企画 「ふしぎ探検隊」⑥ レポート

日時：7月17日（金）18時～20時

場所：2号館1階 学修支援センター 学習室1

内容：身近な問題で数学にチャレンジ！

参加者：人間発達学科4年生 2名、グローバル・スタディーズ学科3年生 1名、
卒業生 1名、教職4名 計8名



今回のふしぎ探検隊は、「身近な問題で数学にチャレンジ！」と題し、グローバル・スタディーズ学科の熊谷健二先生に担当していただきました。

二つの壺の問題

映画「ダイ・ハード3」でも取り上げられていた「3リットルと5リットルの壺を使って4リットルの水をはかる問題」を手始めに、さまざまな大きさの壺を使って水の量を実際に体験しながらはかっています。みなさん頭をひねりながらの実践です。

今回の探検隊のために、水のかわりにピンポン玉を、壺のかわりにペットボトルの器を教材としてご準備いただきました。なんと、熊谷先生のお手製です！切り口で手をケガすることがないように工夫されており、先生の細やかさがよくわかるものでした。



天秤ばかりと重りの問題

次に、「天秤ばかりで重さを量る場合には何グラム为重りが必要か」という問題を、最少の個数の重複しない重りを使ってという条件で考えていきます。

ここでも先生の手作り教材が登場です。とても細やかな教材でみなさん驚いておりました。



さいごに

これら二つの問題を通して、2進数、互いに素、など、久々に数学に触れることができました。また、身近なところに、数学が潜んでいることが分かりました。学科が違うとなかなか聞くことができない先生方の専門のお話を聞ける貴重な機会となり、先生の手作り教材が抜群という側面も知ることができました。熊谷健二先生、ありがとうございました。

前期のふしぎ探検隊はこれで終了です。